

Minami Kyushu University Syllabus									
シラバス年度	2022年度	開講キャンパス	都城キャンパス	開設学科	子ども教育学科				
科目名称	卒業研究						授業形態	演習	
科目コード	300010	単位数	4単位	配当学年	4年	実務経験教員		アクティブ ラーニング	○
担当教員名	遠藤 晃								
授業概要	大学教育の総まとめとして、学生は専門の学問分野に応じた研究課題を設定し、卒業論文としてまとめていく。各学生の問題関心を学問的な問題意識へと発展させていくよう指導するとともに、文献や資料の紹介、解説の仕方、論文の書き方など技術的な面も指導しながら卒業研究の完成へと導いていく。								
関連する科目	子ども教育専門ゼミIIを並行して行う								
授業の進め方 と方法	各自のテーマに沿って、データを収集し、卒業研究をまとめる。								
授業計画 【第1回】	第1回：オリエンテーション								
授業計画 【第2回】	第2回：各自の問題意識の確認と卒業研究の進め方								
授業計画 【第3回】	第3回：卒業研究のテーマ設定(1)								
授業計画 【第4回】	第4回：卒業研究のテーマ設定(2)								
授業計画 【第5回】	第5回：各自の論文テーマに沿っての研究計画作成(1)								
授業計画 【第6回】	第6回：各自の論文テーマに沿っての研究計画作成(2)								
授業計画 【第7回】	第7回：個別指導(1)（先行研究レビュー、資料収集、資料分析等について）								
授業計画 【第8回】	第8回：個別指導(2)								
授業計画 【第9回】	第9回：個別指導(3)								
授業計画 【第10回】	第10回：個別指導(4)								
授業計画 【第11回】	第11回：個別指導(5)								

授業計画 【第12回】	第12回：個別指導(6)
授業計画 【第13回】	第13回：個別指導(7)
授業計画 【第14回】	第14回：個別指導(8)
授業計画 【第15回】	第15回：中間報告会(1)
授業計画 【第16回】	第16回：中間報告会(2)
授業計画 【第17回】	第17回：中間報告会での意見を踏まえ、研究計画の修正
授業計画 【第18回】	第18回：論文作成と進捗状況についての報告および修正(1)
授業計画 【第19回】	第19回：論文作成と進捗状況についての報告および修正(2)
授業計画 【第20回】	第20回：論文作成と進捗状況についての報告および修正(3)
授業計画 【第21回】	第21回：論文作成と進捗状況についての報告および修正(4)
授業計画 【第22回】	第22回：論文作成と進捗状況についての報告および修正(5)
授業計画 【第23回】	第23回：論文作成と進捗状況についての報告および修正(6)
授業計画 【第24回】	第24回：論文作成と進捗状況についての報告および修正(7)
授業計画 【第25回】	第25回：論文作成と進捗状況についての報告および修正(8)
授業計画 【第26回】	第26回：論文作成と進捗状況についての報告および修正(9)
授業計画 【第27回】	第27回：論文作成と進捗状況についての報告および修正(10)
授業計画 【第28回】	第28回：論文作成と進捗状況についての報告および修正(11)

授業計画 【第29回】	第29回：卒業論文発表会(1)
授業計画 【第30回】	第30回：卒業論文発表会(2)
授業の到達目標	1. 4年間の学習の集大成として、自らの関心に沿って設定した研究テーマについて卒業論文を完成させる。 2. 卒業論文に取り組む過程で、子どもの発達にかかわる諸問題について考察を深める。
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)／1. 知識・理解を応用し活用する能力-(2)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(2)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(1)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(2)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(3)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(4)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(5)
授業時間外の学修 【予習】	フィールドワークのプランニング、引用論文の検索と読み込み、データの整理と解析、文章の作成及び構成など
授業時間外の学修 【復習】	フィールドワークのプランニング、引用論文の検索と読み込み、データの整理と解析、文章の作成及び構成など
課題に対する フィードバック	課題については、ゼミの中で解説する。
評価方法・基準	卒論への取り組み、論文内容により総合的に評価する。
テキスト	各自のテーマに応じて適したテキストを使用する
参考書	卒業論文作成にあたっては、各自文献を収集する必要がある。
備考	

Minami Kyushu University Syllabus									
シラバス年度	2022年度	開講キャンパス		都城キャンパス		開設学科		子ども教育学科	
科目名称	卒業研究						授業形態		
科目コード	300010	単位数	4単位	配当学年	4年	実務経験教員			アクティブ ラーニング
担当教員名	瀬戸口 裕二								
授業概要	自らが問題意識を持つ課題について、科学的な知識や論拠を明らかにしながら仮説を立て、多様で多角的なエビデンスを明示しながら検証していく手続きを、計画的、長期的に踏む経験を積むことが重要である。ここでは、ゼミ形式で相互に報告したり協議したり評価し合ったりすることを通して論文作成を展開する。								
関連する科目									
授業の進め方 と方法	それぞれの問題意識や研究の方法について、個別に協議し、論文検索、実験や論文検証等を展開し、卒業論文作成に向かう。								
授業計画 【第1回】	オリエンテーション								
授業計画 【第2回】	各自の問題意識の確認と卒業研究の進め方								
授業計画 【第3回】	卒業研究のテーマ設定（ 1）								
授業計画 【第4回】	卒業研究のテーマ設定（ 2）								
授業計画 【第5回】	各自の論文テーマに沿っての研究計画作成（ 1）								
授業計画 【第6回】	各自の論文テーマに沿っての研究計画作成（ 2）								
授業計画 【第7回】	個別指導（ 1）（先行研究レビュー、資料収集、資料分析等について）								
授業計画 【第8回】	個別指導（ 2）								
授業計画 【第9回】	個別指導（ 3）								
授業計画 【第10回】	個別指導（ 4）								
授業計画 【第11回】	個別指導（ 5）								

授業計画 【第12回】	個別指導（ 6）
授業計画 【第13回】	個別指導（ 7）
授業計画 【第14回】	個別指導（ 8）
授業計画 【第15回】	中間報告会（ 1）
授業計画 【第16回】	中間報告会（ 2）
授業計画 【第17回】	中間報告会での意見を踏まえ、研究計画の修正
授業計画 【第18回】	論文作成と進捗状況についての報告および修正（ 1）
授業計画 【第19回】	論文作成と進捗状況についての報告および修正（ 2）
授業計画 【第20回】	論文作成と進捗状況についての報告および修正（ 3）
授業計画 【第21回】	論文作成と進捗状況についての報告および修正（ 4）
授業計画 【第22回】	論文作成と進捗状況についての報告および修正（ 5）
授業計画 【第23回】	論文作成と進捗状況についての報告および修正（ 6）
授業計画 【第24回】	論文作成と進捗状況についての報告および修正（ 7）
授業計画 【第25回】	論文作成と進捗状況についての報告および修正（ 8）
授業計画 【第26回】	論文作成と進捗状況についての報告および修正（ 9）
授業計画 【第27回】	論文作成と進捗状況についての報告および修正（10）
授業計画 【第28回】	論文作成と進捗状況についての報告および修正（11）

授業計画 【第29回】	卒業論文発表会 (1)
授業計画 【第30回】	卒業論文発表会 (2)
授業の到達目標	障がいに関わる研究課題が的確に把握され、そのことを明らかにしていく方法を選定している。 研究の方法を倫理や正確さ等に配慮しながら、着実に実施していること。 先行研究を踏まえて、研究結果について客観的に評価展望していること。
学位授与の方針 (DP) との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)／1. 知識・理解を応用し活用する能力-(2)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(2)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(1)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(2)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(3)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(4)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(5)
授業時間外の学修 【予習】	
授業時間外の学修 【復習】	
課題に対する フィードバック	
評価方法・基準	卒論への取り組み、論文内容により総合的に評価する。
テキスト	
参考書	
備考	

Minami Kyushu University Syllabus										
シラバス年度	2022年度	開講キャンパス		都城キャンパス		開設学科		子ども教育学科		
科目名称	卒業研究						授業形態			
科目コード	300010	単位数	4単位	配当学年	4年	実務経験教員			アクティブ ラーニング	○
担当教員名	園田 博一									
授業概要	卒業研究は、個々の課題研究であるが、方法や課題をゼミ生で共有し、情報の意見交換などお互いに協力し合う。先行研究・資料収集と整理、研究計画を検討し、スキルを高めていく。研究内容は、経験したことを研究対象とする。教育現場に関わりの深い内容を選択し、美術教育との関連を図りながら卒業制作・論文に仕上げる。発表の形式は、制作（作品）と論文に著す。研究課題は個々の裁量に負うが、これまでのゼミの活動から培われたものを最大限に生かす。テーマ設定後は制作研究と文献研究を進めて理論的背景を構築していく。制作研究では試作を繰り返しながらスキルを高めていく。									
関連する科目	教科教育法（図画工作）、保育内容指導法（造形表現）、図画工作演習、子どもと手作り遊び									
授業の進め方 と方法	専門ゼミⅠ及びⅡの内容を踏まえ学習を進める。研究の目的や方法 については専門ゼミⅠから進めている。文研研究による理論的研究を学習していく。子どもの発達段階と造形表現とをいろいろな角度から検討していく。ものづくりの意味や制作方法を考えていく。各自のテーマに沿った、文献研究、資料収集を行い、ものづくりの背景や意味や歴史も研究の対象とする。絵画、立体、工作、デザイン等の制作実践を通して研究の深化を図る。									
授業計画 【第1回】	オリエンテーション 1年間の流れ 計画立案 卒業研究計画の確認									
授業計画 【第2回】	研究計画の検討と修正①									
授業計画 【第3回】	研究計画の検討と修正②									
授業計画 【第4回】	先行研究の情報収集と分析①									
授業計画 【第5回】	先行研究の情報収集と分析②									
授業計画 【第6回】	研究構想に沿った研究推進 個別指導①									
授業計画 【第7回】	研究構想に沿った研究推進 個別指導②									
授業計画 【第8回】	研究構想に沿った研究推進 個別指導③									
授業計画 【第9回】	研究構想に沿った研究推進 個別指導④									
授業計画 【第10回】	研究構想に沿った研究推進 個別指導⑤									
授業計画 【第11回】	研究構想に沿った研究推進 個別指導⑥									

授業計画 【第12回】	卒業研究の中間報告①
授業計画 【第13回】	卒業研究の中間報告②
授業計画 【第14回】	前期のまとめ
授業計画 【第15回】	後期の研究計画について
授業計画 【第16回】	後期の個人研究計画の確認①
授業計画 【第17回】	後期の個人研究計画の確認②
授業計画 【第18回】	後期の個人研究計画の確認③
授業計画 【第19回】	後期の研究構想に沿った研究推進 個別指導①
授業計画 【第20回】	後期の研究構想に沿った研究推進 個別指導②
授業計画 【第21回】	後期の研究構想に沿った研究推進 個別指導③
授業計画 【第22回】	後期の研究構想に沿った研究推進 個別指導④
授業計画 【第23回】	後期の研究構想に沿った研究推進 個別指導⑤
授業計画 【第24回】	後期の研究構想に沿った研究推進 個別指導⑥
授業計画 【第25回】	卒業研究のまとめ①
授業計画 【第26回】	卒業研究のまとめ②
授業計画 【第27回】	卒業研究の発表の準備①
授業計画 【第28回】	卒業研究の発表の準備②

授業計画 【第29回】	卒業研究の発表の準備③
授業計画 【第30回】	卒業研究の総括
授業の到達目標	・ 研究に対する積極性があり、主体的に参加する。 ・ 課題を発表、討論することで学習を共有する。 ・ 卒業研究に向けての研究構想を具体的に作成し、計画を推し進める。
学位授与の方針 (DP) との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(2) / 2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(2) / 3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(4)
授業時間外の学修 【予習】	
授業時間外の学修 【復習】	
課題に対する フィードバック	専門性や社会性、客観性を注視し、助言を行う。
評価方法・基準	課題に対する取り組み方、姿勢、課題の成果により総合的に判断する。
テキスト	特になし
参考書	参考文献、引用文献資料等、適宜紹介しながら研究推進する。
備考	

Minami Kyushu University Syllabus										
シラバス年度	2022年度	開講キャンパス		都城キャンパス		開設学科		子ども教育学科		
科目名称	卒業研究						授業形態		演習	
科目コード	300010	単位数	4単位	配当学年	4年	実務経験教員			アクティブ ラーニング	○
担当教員名	早川 純子									
授業概要	大学教育の総仕上げとして、卒業論文の作成を目的とする。 まず、「子ども教育専門ゼミⅠ」「子ども教育専門ゼミⅡ」を通して、自らの関心領域に基づいて設定した研究テーマについて具体的な研究計画を立てる。次に、関連文献、資料の収集、先行研究の整理、各自のテーマについての現状調査(フィールドワーク等)などの作業を通じて論文をまとめていく。教員による個別指導とともに、「子ども教育専門ゼミⅡ」での討議を重ねて、研究内容を吟味し論文を完成させる。									
関連する科目	各学年で開講されるゼミを履修し、並行して「子ども教育ゼミⅠⅡ」を受講すること。									
授業の進め方 と方法	個々で異なるテーマを取り扱うため、基本的にマンツーマンでの指導を行う。									
授業計画 【第1回】	研究計画									
授業計画 【第2回】	先行文献研究①									
授業計画 【第3回】	先行文献研究②									
授業計画 【第4回】	先行文献研究③									
授業計画 【第5回】	先行文献研究④									
授業計画 【第6回】	先行文献研究⑤									
授業計画 【第7回】	実地調査計画									
授業計画 【第8回】	実地調査あるいは研究実践①									
授業計画 【第9回】	実地調査あるいは研究実践②									
授業計画 【第10回】	実地調査あるいは研究実践③									
授業計画 【第11回】	実地調査あるいは研究実践④									

授業計画 【第12回】	実地調査あるいは研究実践⑤
授業計画 【第13回】	論文形式の確認
授業計画 【第14回】	執筆内容の確認①
授業計画 【第15回】	執筆内容の確認②
授業の到達目標	
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)／1. 知識・理解を応用し活用する能力-(2)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(2)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(1)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(2)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(3)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(4)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(5)
授業時間外の学修 【予習】	卒業研究のテーマについては常にアンテナを張り、関連する情報収集に努め、コツコツと執筆を進めること。
授業時間外の学修 【復習】	論文指導での指摘点については速やかに改善に取り組み、自己管理にも留意して研究計画に沿って研究を進捗させること。
課題に対する フィードバック	提出課題は、授業時間に評価・解説を行う。
評価方法・基準	卒業研究への取り組みと、論文内容により総合的に評価する。
テキスト	教員の指導のもと、テーマに応じた文献を各自で収集する。
参考書	随時提示する。
備考	

Minami Kyushu University Syllabus									
シラバス年度	2022年度	開講キャンパス		都城キャンパス		開設学科		子ども教育学科	
科目名称	卒業研究						授業形態		
科目コード	300010	単位数	4単位	配当学年	4年	実務経験教員		○	アクティブ ラーニング
担当教員名	宮内 孝								
授業概要	この授業は、大学教育の総まとめとして、学生は専門の学問分野に応じた研究課題を設定し、卒業論文としてまとめることを目的としています。 各学生の問題関心を学問的な問題意識へと発展させていくよう指導するとともに、文献や資料の紹介、解説の仕方、論文の書き方など技術的な面も指導しながら卒業研究の完成へと導きます。授業者は、小学校教諭・教頭として教育実践に取り組んだ経験があります。この実践を通して得た知見を活用して、本授業の学修が深められるようにします。								
関連する科目	子ども教育専門ゼミⅠ・Ⅱ								
授業の進め方 と方法	テーマにそって、討論をしたり実技をしたりしながら、主体的に課題解決に取り組むようにします。また、個別指導も取り入れて卒業研究への取組みが円滑にすすむように支援します。								
授業計画 【第1回】	第1回：オリエンテーション								
授業計画 【第2回】	第2回：各自の問題意識の確認と卒業研究の進め方 グループワーク								
授業計画 【第3回】	第3回：卒業研究のテーマ設定(1) グループワーク								
授業計画 【第4回】	第4回：卒業研究のテーマ設定(2) グループワーク								
授業計画 【第5回】	第5回：各自の論文テーマに沿っての研究計画作成(1)								
授業計画 【第6回】	第6回：各自の論文テーマに沿っての研究計画作成(2) 卒業研究の計画を設定するとともに、完成までの見通しをもちます。								
授業計画 【第7回】	第7回：個別指導(1)（先行研究レビュー、資料収集、資料分析等について）								
授業計画 【第8回】	第8回：個別指導(2)								
授業計画 【第9回】	第9回：個別指導(3)								
授業計画 【第10回】	第10回：個別指導(4)								
授業計画 【第11回】	第11回：個別指導(5)								

授業計画 【第12回】	第12回：個別指導(6)
授業計画 【第13回】	第13回：個別指導(7)
授業計画 【第14回】	第14回：個別指導(8)
授業計画 【第15回】	第15回：中間報告会(1) グループワーク
授業計画 【第16回】	第16回：中間報告会(2) グループワーク
授業計画 【第17回】	第17回：中間報告会での意見を踏まえ、研究計画の修正 個別指導も行っており、中間発表ができるようにします。
授業計画 【第18回】	第18回：論文作成と進捗状況についての報告および修正(1)
授業計画 【第19回】	第19回：論文作成と進捗状況についての報告および修正(2)
授業計画 【第20回】	第20回：論文作成と進捗状況についての報告および修正(3)
授業計画 【第21回】	第21回：論文作成と進捗状況についての報告および修正(4)
授業計画 【第22回】	第22回：論文作成と進捗状況についての報告および修正(5)
授業計画 【第23回】	第23回：論文作成と進捗状況についての報告および修正(6)
授業計画 【第24回】	第24回：論文作成と進捗状況についての報告および修正(7)
授業計画 【第25回】	第25回：論文作成と進捗状況についての報告および修正(8)
授業計画 【第26回】	第26回：論文作成と進捗状況についての報告および修正(9)
授業計画 【第27回】	第27回：論文作成と進捗状況についての報告および修正(10)
授業計画 【第28回】	第28回：論文作成と進捗状況についての報告および修正(11)

授業計画 【第29回】	第29回：卒業論文発表会(1)
授業計画 【第30回】	第30回：卒業論文発表会(2)
授業の到達目標	1. 4年間の学習の集大成として、自らの関心に沿って設定した研究テーマについて卒業論文を完成さ、プレゼンテーションができる。 2. 卒業論文に取り組む過程で、子どもの身体や運動にかかわる諸問題について考察を深める。
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)／1. 知識・理解を応用し活用する能力-(2)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(2)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(1)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(2)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(5)
授業時間外の学修 【予習】	授業前には、各自の卒業研究に取り組むための文献・先行実践についてレジュメ・発表のためのプレゼンを作成します。
授業時間外の学修 【復習】	授業後は、自己の学びをレポートにまとめます。
課題に対する フィードバック	提出課題は、授業時間に評価・解説を行います。
評価方法・基準	論文 60点 プレゼンテーション 40点
テキスト	必要に応じて資料を配付します。
参考書	卒業論文作成にあたっては、各自文献を収集する必要があります。
備考	

Minami Kyushu University Syllabus									
シラバス年度	2022年度	開講キャンパス		都城キャンパス		開設学科		子ども教育学科	
科目名称	卒業研究					授業形態		講義	
科目コード	300010	単位数	4単位	配当学年	4年	実務経験教員		○	アクティブ ラーニング
担当教員名	若宮 邦彦								
授業概要	本授業は卒業論文執筆のためにゼミ生各自が研究する目標や具体的なテーマを定め、その関心を学問的な問題意識へと発展させるために、先行研究や文献を紹介、解説方法を学ぶことを目的とする。 また、フィールドワークによる実践研究を行ったり、各種の調査を行い、大学での学びの総括としての卒業研究を目指す。								
関連する科目	子ども教育専門ゼミⅠ、Ⅱの履修が望ましい。								
授業の進め方 と方法	学生自身が子ども教育専門ゼミⅠ、Ⅱで学んだテーマについて、より深く考察するための探究能力を高めるためのアクティブラーニング型授業を展開する。論文執筆のための研究手法を学び、フィールドワークを通じ、理論知を実践知に関連付けながら理解する。ソーシャルワークにおけるグループワークの技法を活用し、ゼミ生のグループダイナミクスを活用し相互作用を高める取り組みを実施する。								
授業計画 【第1回】	1. 研究テーマの設定と先行研究・文献検索。 各自の問題意識を研究の視座へと発展させ、卒業研究のテーマ設定をする。								
授業計画 【第2回】	2. 先行研究・文献の内容の報告。 各ゼミ生の研究テーマに応じた先行研究・文献のサマリーを報告する。								
授業計画 【第3回】	3. 各自のテーマに関する検討会。 各ゼミ生が設定した研究テーマの概要も報告と意見交換をする。								
授業計画 【第4回】	4. 研究のプランニングとスケジュール表の作成。								
授業計画 【第5回】	5. 研究についての個別指導①。 ゼミ生の研究テーマテーマに関連する論文・著書・法制度に関連する資料を収集し、研究目的、方法等について整理する。								
授業計画 【第6回】	6. 研究についての個別指導②。 ゼミ生が設定したテーマに関連する論文・著書・先行研究等の資料を収集し研究の概要、総論と各論の整理をする。								
授業計画 【第7回】	7. 研究についての個別指導③。 ゼミ生が設定したテーマに関連する論文・著書・先行研究等の資料を収集し研究の概要、総論と各論の整理をする								
授業計画 【第8回】	8. 研究方法の検討と進捗状況の確認①。 各自の研究手法に基づき、準備と分析に関する手法の指導を行う。								
授業計画 【第9回】	9. 研究方法の検討と進捗状況の確認②。 各自の研究手法に基づき、準備と分析に関する手法の指導を行う。								
授業計画 【第10回】	10. 研究方法の検討と進捗状況の確認③。 各自の研究手法に基づき、準備と分析に関する手法の指導を行う。								
授業計画 【第11回】	11. 各自による中間報告・文献研究のまとめ①。 主に文献レビューの結果を中心に報告、個別指導を行う。								

授業計画 【第12回】	12. 各自による中間報告・文献研究のまとめ②。 文献レビューしたものをレポートにしゼミ内で発表し、質疑応答やディスカッションをし学びを深める。
授業計画 【第13回】	13. 各自による中間報告・文献研究のまとめ③。 文献レビューしたものをレポートにしゼミ内で発表し、質疑応答やディスカッションをし学びを深める。
授業計画 【第14回】	各ゼミ生の研究テーマに応じた分析から仮説検証、研究成果についての確認を行う。
授業計画 【第15回】	15. 研究の進捗状況報告・個別指導② 各ゼミ生の研究テーマに応じた分析から仮説検証、研究成果を共有し、質疑、議論を通してブラッシュアップを図る。
授業計画 【第16回】	16. 研究の進捗状況報告・個別指導③ 各ゼミ生の研究テーマに応じた分析から仮説検証、研究成果を共有し、質疑、議論を通してブラッシュアップを図る。
授業計画 【第17回】	17. 進捗状況の確認とスケジュールの確認①。 各ゼミ生の卒業論文の添削をしながら個別の研究テーマに応じた修正、調査データの分析、プレゼンテーションの方法等を学ぶ。
授業計画 【第18回】	18. 進捗状況の確認とスケジュールの確認②。 各ゼミ生の卒業論文の添削をしながら個別の研究テーマに応じた修正、調査データの分析、プレゼンテーションの方法等を学ぶ。
授業計画 【第19回】	19. 進捗状況の確認とスケジュールの確認③。 各ゼミ生の卒業論文の添削をしながら個別の研究テーマに応じた修正、調査データの分析、プレゼンテーションの方法等を学ぶ。
授業計画 【第20回】	20. 研究計画の修正及び検討①。 文献研究、調査研究の分析進捗状況をふまえ卒業研究発表会に向けての調整を図る。
授業計画 【第21回】	21. 研究計画の修正及び検討②。 文献研究、調査研究の分析進捗状況をふまえ卒業研究発表会に向けての調整を図る。
授業計画 【第22回】	22. 研究計画の修正及び検討③。 文献研究、調査研究の分析進捗状況をふまえ卒業研究発表会に向けての調整を図る。
授業計画 【第23回】	23. プレゼンテーション方法の検討と決定①。 卒業研究テーマに応じた効果的なプレゼンテーション資料の作成、方法を学ぶ。
授業計画 【第24回】	24. プレゼンテーション方法の検討と決定②。 卒業研究テーマに応じた効果的なプレゼンテーション資料の作成、方法を学ぶ。
授業計画 【第25回】	25. プレゼンテーション方法の検討と決定③。 卒業研究テーマに応じた効果的なプレゼンテーション資料の作成、方法を学ぶ。
授業計画 【第26回】	26. プレゼンテーションに向けての抄録・発表資料の作成① 各自のテーマに沿った抄録、パワーポイントデータの作成。
授業計画 【第27回】	27. プレゼンテーションに向けての抄録・発表資料の作成② 各自のテーマに沿った抄録、パワーポイントデータの作成。副査の先生への抄録提出。
授業計画 【第28回】	28. 卒業審査会に向けての準備①。 模擬発表会(リハーサル)を開催し、質疑応答をふまえ内容の精査を実施する。

授業計画 【第29回】	29. 卒業審査会に向けての準備②。 模擬発表会（リハーサル）を開催し、質疑応答をふまえて内容の精査を実施する。発表当日に向けた想定問答集を作成する。
授業計画 【第30回】	15. 卒業研究発表会。 プレゼンテーションを行い副査の先生、聴講生からの質疑や助言により、課題を明確化し、加筆修正する。
授業の到達目標	1. 学生の問題意識について能動的、科目横断的な学習能力を習得する。社会福祉学を主とした学術的思考過程をふまえたリテラシー能力の向上。【知識・理解の獲得】 2. 児童福祉に関する現代的課題について自らの問題意識を明確化するとともに問題等の現状分析・検討を行い卒業研究を完成させる。【生涯学習力の育成】
学位授与の方針 (DP)との関連	2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(2)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(5)
授業時間外の学修 【予習】	授業中に次の授業内容（予習箇所）を提示する。各自が研究する目標や具体的なテーマを定め、大学での学びの総括としての卒業研究を目指すために、ゼミ生間でのサブ・ゼミを指導毎に20分程度実施すること。
授業時間外の学修 【復習】	ゼミ中に議論したり学んだ内容について各ゼミ生が研究したいテーマに関する文献やデータを収集し、卒業研究のためのレポートを発表し、討論を行い、専門的知識を深めるための復習をゼミ生間でのサブ・ゼミを指導毎に20分程度実施すること。
課題に対する フィードバック	レポート、プレゼンテーションは評価後、返却及び解説をします。
評価方法・基準	卒業研究レポート提出70点、ワークショップ等20点、学習意欲30点、
テキスト	なし
参考書	『よくわかる卒論の書き方』第2版 白井利明・高橋一郎編著 ミネルヴァ書房
備考	医療ソーシャルワーカー、主任ケアマネジャー、要保護児童対策地域協議会委員他

Minami Kyushu University Syllabus										
シラバス年度	2022年度	開講キャンパス		都城キャンパス		開設学科		子ども教育学科		
科目名称	卒業研究						授業形態		演習	
科目コード	300010	単位数	4単位	配当学年	4年	実務経験教員			アクティブ ラーニング	○
担当教員名	福富 隆志									
授業概要	本ゼミでは、教育に関連する事象について、学生自身が関心や問題意識を持ち、自分の卒業研究として取り上げたい事柄を選択し、文献の収集・整理や内容の精査、研究計画の立案と実施報告、プレゼンテーションと全体での討論を繰り返しながら、研究を行うことの意義や研究の方法、論文作成に必要な知識や論文の書き方について学び、四年間の学びの集大成として卒業研究をまとめ上げることを目指す。									
関連する科目	子ども教育専門ゼミⅠを前年度に、子ども教育専門ゼミⅡを同年度に履修すること。									
授業の進め方 と方法	1回の授業の基本的な構成は下記の通りである： 【前半】各自の考えをレポートやプレゼン等で表現し、議論を通して今後の展開に向けた見通しを掴む。 【後半】次回までの展開に必要な知識・技能について解説し、習熟への見通しを掴む。									
授業計画 【第1回】	第1回：オリエンテーション									
授業計画 【第2回】	第2回：各自の課題意識の明確化と研究課題の設定									
授業計画 【第3回】	第3回：各自の研究課題の報告及び検討									
授業計画 【第4回】	第4回：卒業研究の行程表の作成									
授業計画 【第5回】	第5回：卒業研究の行程表の報告及び検討									
授業計画 【第6回】	第6回：研究論文の構成と読み方									
授業計画 【第7回】	第7回：研究の進め方と研究計画の立案									
授業計画 【第8回】	第8回：各自の研究計画(問題・目的)の報告及び検討(1)									
授業計画 【第9回】	第9回：各自の研究計画(問題・目的)の報告及び検討(2)									
授業計画 【第10回】	第10回：各自の研究計画(方法)の報告及び検討(1)									
授業計画 【第11回】	第11回：各自の研究計画(方法)の報告及び検討(2)									

授業計画 【第12回】	第12回：各自の研究計画に基づく文献資料の報告及び検討(1)
授業計画 【第13回】	第13回：各自の研究計画に基づく文献資料の報告及び検討(2)
授業計画 【第14回】	第14回：各自の研究計画の修正及び検討(1)
授業計画 【第15回】	第15回：各自の研究計画の修正及び検討(2)
授業計画 【第16回】	第16回：研究計画の実施報告及び個別指導(1)
授業計画 【第17回】	第17回：研究計画の実施報告及び個別指導(2)
授業計画 【第18回】	第18回：研究計画の実施報告及び個別指導(3)
授業計画 【第19回】	第19回：中間報告
授業計画 【第20回】	第20回：研究計画の実施報告及び個別指導(4)
授業計画 【第21回】	第21回：研究計画の実施報告及び個別指導(5)
授業計画 【第22回】	第22回：研究計画の実施報告及び個別指導(6)
授業計画 【第23回】	第23回：研究報告(1)
授業計画 【第24回】	第24回：研究報告(2)
授業計画 【第25回】	第25回：プレゼンテーション方法の報告及び検討(1)
授業計画 【第26回】	第26回：プレゼンテーション方法の報告及び検討(2)
授業計画 【第27回】	第27回：ゼミ内でのプレゼンテーション(1)
授業計画 【第28回】	第28回：ゼミ内でのプレゼンテーション(2)

授業計画 【第29回】	第29回：卒業論文発表会(1)
授業計画 【第30回】	第30回：卒業論文発表会(2)
授業の到達目標	本ゼミでは、四年間の学びの集大成として、教育に関連する事象について、「心理学的観点から自分自身で研究を立案実施し、卒業論文としてまとめ上げることを目標とする。具体的には、「自分の興味関心」を具体的に絞り込み、関連する「過去の論文・書籍」を検索しながら、卒業研究で扱いたいテーマに関する「研究履歴」を整理し、各自の問題意識に基づいた「研究展開」「研究計画」を構想した上で、タイムスケジュールを意識しながら実施し、研究結果を適切に整理しながら、研究論文としての体裁を踏まえた適切な論文作成が出来るようになることを目標とする。
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(2)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(4)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(5)
授業時間外の学修 【予習】	指定した文献から次回の発表範囲を事前に熟読し、次回の発表内容の概略を把握すると同時に、授業内で必要となる資料作成を行うこと（1.5時間）
授業時間外の学修 【復習】	授業で学んだ内容を振り返り、要点を整理すること（1時間）、また授業終了時に示す課題に取り組み、必要な資料作成を行ったり、授業中に議論した内容に関して自分なりの考えをまとめておくこと（1.5時間）
課題に対する フィードバック	毎回の提出課題（発表資料など）は、授業時間に評価・解説を行う。
評価方法・基準	発表やレポートの質、議論への参加の程度から総合的に判断する。 ①発表、レポート：80% ②議論への参加：20%
テキスト	初回の授業で指示をする。
参考書	小塩真司・宅 香菜子 『心理学の卒業研究ワークブック-発想から論文完成までの10ステージ-』 金子書房 その他、必要に応じて図書、資料を紹介する。
備考	

Minami Kyushu University Syllabus										
シラバス年度	2022年度	開講キャンパス		都城キャンパス		開設学科		子ども教育学科		
科目名称	卒業研究					授業形態		演習		
科目コード	300010	単位数	4単位	配当学年	4年	実務経験教員			アクティブ ラーニング	○
担当教員名	藤本 朋美									
授業概要	この授業の目的は、大学での学びの総括として、自ら研究課題を設定し、卒業論文としてまとめることです。 ①これまで学んできた専門的知識やボランティア活動等で得た経験をもとに、特に幼児や児童のことばや文字、伝え合うこと等にかかわる研究テーマを設定し、②先行研究の収集・整理と分析、③調査・分析等を通して、その成果を卒業論文として執筆します。									
関連する科目	事前に「子ども教育専門ゼミⅠ」を受講しておくこと。 同時に「子ども教育専門ゼミⅡ」を受講すること。									
授業の進め方 と方法	この授業は、演習形式で行います。 必要に応じて、個別指導と集団指導を行います。 10月 卒業研究中間報告会、1月 卒業研究論文提出、2月 卒業研究審査会を行います。									
授業計画 【第1回】	オリエンテーション									
授業計画 【第2回】	課題の確認									
授業計画 【第3回】	研究のテーマ設定 ①自身を客観視する									
授業計画 【第4回】	研究のテーマ設定 ②テーマの焦点化									
授業計画 【第5回】	論文執筆のルール									
授業計画 【第6回】	先行研究の整理、資料収集について									
授業計画 【第7回】	研究計画作成 ①計画についての意見交換									
授業計画 【第8回】	研究計画作成 ②計画の再設計									
授業計画 【第9回】	先行研究の整理 ①文献の読み込み、情報収集									
授業計画 【第10回】	先行研究の整理 ②批判的検討									
授業計画 【第11回】	個別指導（論文執筆）①論文の構造を知る									

授業計画 【第12回】	個別指導（論文執筆）②主題文の作成
授業計画 【第13回】	個別指導（論文執筆）③アウトラインの作成
授業計画 【第14回】	個別指導（論文執筆）④題名（仮）の設定
授業計画 【第15回】	個別指導（論文執筆）⑤アウトラインと題名（仮）の整合性
授業計画 【第16回】	研究計画の修正と検討 ①計画についての意見交換
授業計画 【第17回】	研究計画の修正と検討 ②計画の再設計
授業計画 【第18回】	中間報告 ①進捗状況の確認
授業計画 【第19回】	中間報告 ②進捗状況の報告
授業計画 【第20回】	研究計画の修正と検討 ③計画の再々設計
授業計画 【第21回】	個別指導（論文執筆）⑥定型表現を用いた執筆
授業計画 【第22回】	個別指導（論文執筆）⑦論理の階層構造
授業計画 【第23回】	個別指導（論文執筆）⑧研究の意義と位置づけ
授業計画 【第24回】	個別指導（論文執筆）⑨キーワードとの整合性
授業計画 【第25回】	ゼミ内発表 ①意見交換
授業計画 【第26回】	ゼミ内発表 ②論文の再検討
授業計画 【第27回】	プレゼンテーションの作成 ①意見交換
授業計画 【第28回】	プレゼンテーションの作成 ②再検討

授業計画 【第29回】	プレゼンテーションの作成 ③報告練習
授業計画 【第30回】	卒業論文の提出及びプレゼンテーション
授業の到達目標	1. 自身の研究テーマについて、広げては絞り込むという思考の往復運動を繰り返すことができる。 2. 体系的でまとまった情報を収集することができる。 3. 論文の構造を知り、組み立てることができる。
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(2)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(4)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(5)
授業時間外の学修 【予習】	授業前には、自身のテーマについて関連情報を収集しまとめ、自身の主張を資料にまとめてください。
授業時間外の学修 【復習】	授業後は、授業内での検討を振り返り、要点を整理し、論文執筆を進めてください。
課題に対する フィードバック	毎回のレジュメについては、授業時に評価、コメントします。
評価方法・基準	卒業研究への取り組み 50点 卒業研究論文 50点
テキスト	井下千以子『思考を鍛えるレポート・論文作成法 第2版』慶応義塾大学出版会、2013年。(1,200円＋税)
参考書	必要に応じて図書、資料を紹介します。
備考	

Minami Kyushu University Syllabus									
シラバス年度	2022年度	開講キャンパス	都城キャンパス	開設学科	子ども教育学科				
科目名称	卒業研究						授業形態		
科目コード	300010	単位数	4単位	配当学年	4年	実務経験教員		アクティブ ラーニング	○
担当教員名	野村 宗嗣								
授業概要	研究テーマに添って、先行研究やケースによる具体的なデータから、分析と考察を行い、卒業研究としてまとめ、発表する。								
関連する科目	子ども教育専門ゼミⅠ 子ども教育専門ゼミⅡ								
授業の進め方 と方法	研究課題について先行研究を踏まえながら、具体的なケースを引用し、研究論文としてまとめる。 4年間の学びの集大成として、自らの興味・関心に沿って設定した研究テーマにて、研究を進める。研究に取り組む過程で、特別支援教育に関する諸問題について理解を深めるとともに、考察を行う力量を養う。								
授業計画 【第1回】	第 1回：研究テーマの設定（1）								
授業計画 【第2回】	第 2回：研究テーマの設定（2）								
授業計画 【第3回】	第 3回：課題の明確化								
授業計画 【第4回】	第 4回：論文の構成								
授業計画 【第5回】	第 5回：先行研究の読み方								
授業計画 【第6回】	第 6回：先行研究の引用								
授業計画 【第7回】	第 7回：研究方法								
授業計画 【第8回】	第 8回：研究計画の作成（1）								
授業計画 【第9回】	第 9回：研究計画の作成（2）								
授業計画 【第10回】	第10回：研究計画の作成（3）								
授業計画 【第11回】	第11回：事例収集と分析（1）								

授業計画 【第12回】	第12回：事例収集と分析（2）
授業計画 【第13回】	第13回：事例収集と分析（3）
授業計画 【第14回】	第14回：事例研究の報告と討論
授業計画 【第15回】	第15回：研究計画の修正と検討（1）
授業計画 【第16回】	第16回：研究計画の修正と検討（2）
授業計画 【第17回】	第17回：研究の実施（1）
授業計画 【第18回】	第18回：研究の実施（2）
授業計画 【第19回】	第19回：研究の実施（3）
授業計画 【第20回】	第20回：研究の実施（4）
授業計画 【第21回】	第21回：中間発表と討論
授業計画 【第22回】	第22回：個別指導（1）
授業計画 【第23回】	第23回：個別指導（2）
授業計画 【第24回】	第24回：個別指導（3）
授業計画 【第25回】	第25回：個別指導（4）
授業計画 【第26回】	第26回：個別指導（5）
授業計画 【第27回】	第27回：個別指導（6）
授業計画 【第28回】	第28回：ゼミ内での報告

授業計画 【第29回】	第29回：プレゼンテーションの作成
授業計画 【第30回】	第30回：論文提出・プレゼンテーション
授業の到達目標	研究課題について先行研究を踏まえながら、具体的なケースをもとに、研究論文としてまとめる。 授業時間外も含め、資料収集や論文作成を行う。
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(2)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(2)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(3)
授業時間外の学修 【予習】	研究課題について先行研究を踏まえながら、具体的なケースをもとに、研究論文としてまとめる。
授業時間外の学修 【復習】	授業時間外も含め、資料収集や論文作成を行う。
課題に対する フィードバック	課題に対する自分なりの見解や疑問点等を整理し、ゼミ内での意見交換や討論を通して、課題解決のための手順理解や論点整理を行う。
評価方法・基準	論文の内容とプレゼンテーションから、総合的に評価する。
テキスト	使用しない。
参考書	適宜、紹介。
備考	

Minami Kyushu University Syllabus										
シラバス年度	2022年度	開講キャンパス		都城キャンパス		開設学科		子ども教育学科		
科目名称	卒業研究					授業形態		演習		
科目コード	300010	単位数	4単位	配当学年	4年	実務経験教員			アクティブ ラーニング	○
担当教員名	山田 裕司									
授業概要	これまで学んできた教育学の専門的知識及び、子どもたちとの関わりを通して身につけ、感じたことを基に、教育学の知識をより深く学ぶ。特に、子どもと社会の関係や、教育的行為の成果の点検・評価に着目する。 卒業研究は、「子ども教育専門ゼミⅡ」にて取り組んだこと（自分の関心ある教育学のテーマの絞り込み、各種資料や文献、先行研究の分析、調査研究）をまとめて、卒業論文を作成する。個別指導と集団指導を交互に行い、プレゼンテーション能力や質問力などを身につける。									
関連する科目	子ども教育入門ゼミ、子ども教育ブレゼミ、子ども教育専門ゼミⅠ、子ども教育専門ゼミⅡ									
授業の進め方 と方法	基本的には個別指導と全体指導を交互に行います。事前に調査研究してきた内容を基に指導・助言を行い、研究成果の完成を目指します。									
授業計画 【第1回】	1. （集団）関心テーマの設定及び今後の論文執筆スケジュールの確認									
授業計画 【第2回】	2. （集団）関心テーマの報告									
授業計画 【第3回】	3. （個別）関心テーマに基づいた資料の紹介（1）先行研究									
授業計画 【第4回】	4. （個別）関心テーマに基づいた資料の紹介（2）各種統計資料									
授業計画 【第5回】	5. （個別）関心テーマに基づいた資料の紹介（3）各種答申									
授業計画 【第6回】	6. （集団）関心テーマに基づいた資料の紹介（1）資料の探し方									
授業計画 【第7回】	7. （個別）関心テーマに基づいた先行研究の分析（2）社会学的視点から									
授業計画 【第8回】	8. （個別）関心テーマに基づいた先行研究の分析（3）政策科学的視点から									
授業計画 【第9回】	9. （集団）関心テーマに基づいた先行研究の紹介（1）先行研究の探し方									
授業計画 【第10回】	10. （集団）関心テーマに基づいた先行研究の紹介（2）先行研究のまとめ方									
授業計画 【第11回】	11. （個別）関心テーマに基づいた調査研究（1）調査企画									

授業計画 【第12回】	12. (個別) 関心テーマに基づいた調査研究 (2) 調査の実施
授業計画 【第13回】	13. (個別) 関心テーマに基づいた調査研究 (3) 調査結果の分析
授業計画 【第14回】	14. (個別) 関心テーマに基づいた調査研究 (4) 調査研究結果の概要報告
授業計画 【第15回】	15. (集団) 関心テーマに基づいた調査研究 (1) 結果の分析方法
授業計画 【第16回】	16. (集団) 関心テーマに基づいた調査研究 (2) 結果の読み方
授業計画 【第17回】	17. (集団) 関心テーマに基づいた調査研究 (3) 調査研究結果の報告
授業計画 【第18回】	18. (個別) 先行研究の分析結果のまとめ
授業計画 【第19回】	19. (個別) 各種統計資料の分析結果のまとめ
授業計画 【第20回】	20. (個別) 調査研究の分析結果のまとめ
授業計画 【第21回】	21. (個別) 論文執筆-論文構成の検討
授業計画 【第22回】	22. (個別) 論文執筆-先行研究
授業計画 【第23回】	23. (個別) 論文執筆-課題の設定
授業計画 【第24回】	24. (集団) 論文執筆-進捗報告
授業計画 【第25回】	25. (個別) 論文執筆-調査研究の手法
授業計画 【第26回】	26. (個別) 論文執筆-調査研究の分析
授業計画 【第27回】	27. (個別) 論文執筆-まとめ
授業計画 【第28回】	28. (集団) 論文執筆-進捗報告

授業計画 【第29回】	29. (個別) 論文執筆-修正
授業計画 【第30回】	30. (個別) 論文執筆-最終確認
授業の到達目標	1. 教育学・社会科学的視点から調査研究を行うことができるスキルを身につける。 2. 自ら設定した課題を解決するためのプロセスを明確にし、実行することができるスキルを身につける。 3. 先行研究、各種統計資料等を分析し、第三者に分かりやすく説明することができるスキルを身につける。
学位授与の方針 (DP) との関係	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)／1. 知識・理解を応用し活用する能力-(2)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(2)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(1)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(2)
授業時間外の学修 【予習】	卒業研究の執筆 先行研究、各種統計資料、文献の要約の作成 調査研究の実施 ゼミ中のコメントへの回答作成
授業時間外の学修 【復習】	卒業研究の執筆 先行研究、各種統計資料、文献の要約の作成 調査研究の実施 ゼミ中のコメントへの回答作成
課題に対する フィードバック	研究成果に対して、適時指導・助言する。
評価方法・基準	以下の項目に基づいて評価します。 1) 学習意欲（授業中）-20点、 2) 卒業論文作成-80点
テキスト	必要に応じて指示します。
参考書	必要に応じて指示します。
備考	